

第87回メーデー 県内5会場で開催

4月30日 和歌山県中央集会 約6,000人の参加者が集う



▲挨拶を行う小林茂実行委員長

連合和歌山は4月30日（土）和歌山城「砂の丸広場」において「第87回メーデー和歌山県中央集会」を開催しました。

式典に先立ち、構成産別の組合員約500名が参加しデモ行進が行われ、参加者は組合旗やプラカードを掲げ、「働くことを軸とする安心社会の実現」、「ストップ・ザ・格差社会！暮らしの底上げ実現」、「男女平等参画社会の実現」などを求め、和歌山城岡口門から屋形町、三木町交差点を経由して和歌山市役所までのコースを行進しました。

式典では、冒頭、小林実行委員長が挨拶し、次に来賓挨拶（仁坂吉伸和歌山県知事、尾花正啓和歌山市長、神出政巳海南市長、民進党和歌山県連より坂田隆徳副代表、連合和歌山地方議員団会議より長坂隆司県議会議員、事業団体より古谷紀男近畿労働金庫和歌山地区統括本部長の順）が行われました。

その後、特別決議、スローガン、メーデー宣言の採択がされ、最後に岡本副実行委員長の発声によりガンバロウ三唱を行い、式典を終了しました。

イベントではチャリティーバザー、加盟産別・構成組織やプレミア和歌山による模擬店をはじめ、キャラクターショー及び写真撮影会、アンサンブルレネットコンサート、よさこい演舞、ミニいちごトレイン、移動動物園、福引き抽選会などの催しで大いに賑わいました。

なお、当日、メーデー会場内で行われました「熊本県を中心とする九州地震災害」救援カンパの合計金額は66,110円となり、その全額について、連合本部を通じて被災県に対して義援金として届けられます。



▲「格差是正」、「雇用の安定」を訴えデモ行進



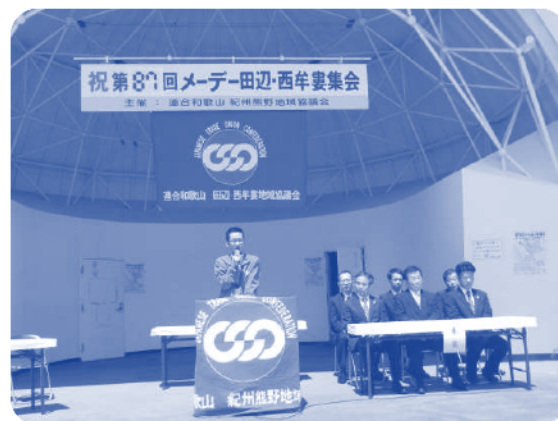
▲多くの参加者が集会に参加

◇第 87 回メーデー 各地域（地協）での開催結果

地 域	開催日	場 所	参加者
海南・海草	4月30日	和歌山城「砂の丸広場」(和歌山県中央集会和合同開催)	6,000人
有田・御坊日高	4月29日	広川町民体育館	700人
田辺・西牟婁	4月30日	田辺市扇ヶ浜公園「カップパーク」	850人
新宮・東牟婁	4月30日	勝浦漁港魚市場	400人
紀 北	4月29日	ホール田園	350人



▲有田・御坊日高地協メーデー



▲田辺・西牟婁地区協メーデー



▲新宮・東牟婁地区協メーデー



▲紀北地協メーデー

第 87 回メーデー「チャリティーバザー」 売上金を「はまゆう基金」へ寄付

小林実行委員長は5月19日（木）に県社会福祉協議会の事務所を訪問し、第87回メーデー「チャリティーバザー」の売上金52,100円を「はまゆう基金」に寄付しました。

チャリティーバザーの運営ならびに商品を提供していただいた各組織の皆様のご協力に御礼申し上げます。



▲はまゆう基金へ

男女平等参画社会の実現をめざそう！

6月は“男女平等月間” ♀♂

連合は、職場・家庭・地域における男女平等参画の重要性について、組織内の合意形成をはかり、男女平等推進への機運を高めるため、2004年から6月を「男女平等月間」と位置づけています。

世界経済フォーラムが2015年11月に発表した各国の男女間格差を示す「ジェンダーギャップ指数2015」において、日本は145カ国中の101位と前年に引き続き低い水準となっています。

このような背景を踏まえ、女性活躍推進法が2016年4月に施行されるなど、法制面での男女平等は進んでいるものの、女性の参画や採用・賃金・昇進の男女間格差など課題は多く、まだまだ男女平等参画社会実現の取り組みを進めていく必要があります。

連合和歌山では男女平等参画社会実現の取り組みとして、「男女平等月間学習会」を下記のとおり開催します。多くの組合員の皆様の参加をお願いします。

日 時	2016年6月11日（土）13：30～17：00
場 所	和歌山県勤労福祉会館「プラザホープ」
内 容	○学習会「ワーク・ライフ・バランスの取り組みについて」 講師：連合本部 男女平等局 富高 裕子 氏 ○グループディスカッション

連合和歌山植樹祭を実施

2016年3月26日（土）日高川町「連合和歌山の森」で植樹祭を実施しました。

毎年、現地において下草刈りの活動を行ってききましたが、今回は県及び美山村森林組合との管理協定を再度締結したことに伴い、10年ぶりに新たに植樹を行いました。

小林会長や来賓の挨拶、作業指導や森林についての学習会の後に、植樹を行いました。急斜面での作業は、足もとが不安定で大変でしたが、参加者の方は美山村森林組合の職員から指導を受けながら、アラカシや白樺の苗木約200本の植樹を行いました。この植樹祭に構成組織から組合員とその家族をあわせて68人が参加しました。



▲植樹祭参加者全員で



▲植樹の様子

中小・地場労組解決促進集會を開催

2016年4月5日（火）和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」において「2016 春季生活闘争中小・地場労組解決促進集會」を開催しました。

冒頭、小林会長挨拶の後、東郷事務局長より「中小労組における取り組みと情勢報告」について説明がありました。

昨年までの中小労組での妥結額は大手より低い額で妥結する傾向にあったが、本年の集會開催時点での春季生活闘争妥結速報値では、大手と中小のベア平均額の差が縮小傾向となっている事。しかしながら全体の半数以上の労組において引き続き賃上げ交渉が継続されており、格差是正は道半ばである事が報告されました。

その後、各単組より春季生活闘争の現状の情勢や、妥結結果、労働条件改善交渉の取り組みが報告され、最後にU Aゼンセン和歌山県支部長で連合和歌山の森原副会長の発声で団結ガンバロウを三唱し閉会となりました。

この集會に、構成組織から組合員 66 名が参加しました。



▲集會の様子

熊本県を中心とする九州地震災害に対する救援カンパを実施

熊本県を中心とする地震災害の発生に際し、亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、負傷された皆様、被災された皆様に、心からのお見舞いを申し上げます。

連合和歌山では、2016年4月22日（金）和歌山市「JR和歌山駅前」において、救援カンパを実施し、54,486 円のカンパ金をいただきました。

みなさまからお預かりしたカンパ金は、連合を通じて被災各県に対して義援金として拠出されます。

ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



▲救援カンパの様子

連合和歌山執行委員と男女平等参画推進委員・女性委員との意見交換を実施

2016年5月10日（火）和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」において、意見交換を実施しました。冒頭、男女平等推進委員長の濱地副会長から連合和歌山男女平等参画推進の取り組みについて説明があり、その後、意見交換を行いました。

意見交換では、男女平等参画推進員や女性委員からの質問に対して、各執行委員から産別や単組の状況について説明がありました。

執行委員・男女平等参画推進委員・女性委員あわせて 22 名が参加しました。

青年委員会・女性委員会第 87 回メーデーで模擬店を出店

2016 年 4 月 30 日（土）に和歌山城「砂の丸広場」で開催された第 87 回メーデー和歌山県中央集会に、青年委員会は揚げたこ焼き、女性委員会はツナサンドの模擬店をそれぞれ出店しました。

模擬店での売上金 99,350 円は、メーデー会場で行った熊本県を中心とする九州地震災害に対する救援カンパと併せて、連合本部を通じて被災県に対して義援金として届けられます。



▲青年委員会の模擬店（揚げたこ焼き）



▲女性委員会の模擬店（ツナサンド）

連合和歌山青年委員会「第 4 回ユースラリー」を開催



▲挨拶する谷口委員長

2016 年 5 月 13 日（金）から 14 日（土）にかけて、かつらぎ町「紀北青少年の家」において、構成組織から組合員 52 名参加のもと、青年委員会「第 4 回ユースラリー」を開催しました。

谷口青年委員長の挨拶で開会し、まず各班にわかれて班員で自己紹介や班名を決めるアイスブレイクを行いました。その後、スポーツ交流会にうつり、かりもの競走やフラフープ運び等、班対抗で種目を実施し汗を流しました。自炊体験では慣れない包丁や薪による調理など、日頃とはちがう調理に苦戦しながらも、終始なごやかな雰囲気でお交を深めました。

2 日目は、連合本部の山根木晴久総合組織局長を講師にむかえ、「連合運動の世界～すべては、仲間のために～」と題し講演いただきました。講演では、労働組合の意義や活動について、実体験を踏まえながら、わかりやすく説明していただきました。その後、ワールドカフェ方式によるグループディスカッションを行い、「職場環境をよくするために」をテーマにそれぞれのグループで討論し、各グループで出された意見について発表を行いました。

最後に、谷口委員長の閉会挨拶で第 4 回ユースラリーを終えてきました。



▲スポーツ交流会の様子



▲自炊体験の様子



▲学習会の様子（講師：山根木局長）



▲グループディスカッションの様子



▲参加者全員で

組織拡大取り組み学習会を開催

2016年5月18日（水）和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」において、組織拡大取り組み学習会を開催しました。

冒頭、小林会長の挨拶があり、その後、学習会を行いました。学習会には、連和本部非正規労働センターの石田輝正局長を講師にむかえ、「職場内の未組織非正規労働者の組合組織化について」と題し講演いただきました。講演では、なぜ組織化に取り組んだのか、取り組みにあたっての「壁」の正体と解決策、加入活動の取り組み方法、取り組みの成果について、実際に組織化されている事例を示しながら説明していただきました。

最後に組織局会議委員長の湊副会長が閉会の挨拶を行い、学習会を終了しました。

この学習会に、構成組織から組合員36名が参加しました。



▲学習会の様子



▲講師の石田局長

「クラシノソコアゲ応援団！2016RENGOキャンペーン」 アンケート活動を実施

連合は、7月の参議院議員選挙を念頭に、働く者、生活者の立場からの社会的な対抗軸を構築することを目的に現在、「クラシノソコアゲ応援団！2016RENGOキャンペーン」を実施しております。連合和歌山及び各地協は、取り組みの一環として、構成組織の組合員及び地域の人々に「働くこと」や「暮らし」に関する悩みや心配事などについてのアンケートを実施しました。結果は以下のとおりでした。

アンケート内容

- ① 暮らし、苦しくなっていませんか？
苦しくなった 300人 苦しくなっていない 222人
- ② 仕事、きちんと報われていますか？
報われている 238人 報われていない 259人
- ③ 老後や子育て、不安はありませんか？
不安はない 61人 不安だ 454人
- ④ 今の政策、働く人が主役ですか？
思う 82人 思わない 422人



本キャンペーンは今後7月までを「運動の社会への波及」期間と位置づけ、引き続き労働者保護ルール改悪法案などに対して働く者・生活者目線で政策の必要性などを訴えていきますのでご協力よろしくをお願いします。

第48回衆議院議員選挙（和歌山第二区選挙区）に坂田隆徳氏の推薦を決定



▲坂田隆徳氏

連合和歌山は、第24回参議院選挙に坂田隆徳氏の推薦を決定していましたが、民進党より参議院議員選挙の推薦取り下げと第48回衆議院議員選挙（和歌山第二区選挙区）での推薦依頼がありました。これを受け、2016年5月10日の第7回執行委員会において、第48回衆議院議員選挙の推薦候補者を「坂田隆徳」氏に決定し、本部に上申を行いました。そして、5月19日に開催された連合本部第8回中央執行委員会において、連合本部の推薦が承認されました。

連合和歌山では、坂田氏の当選に向けて積極的に取り組んでいきます。

～坂田隆徳氏 略歴～

1979年4月25日生 和歌山市出身

経歴 衆議院議員秘書、民主党神奈川県支部職員

民間会社取締役 現在に至る

1

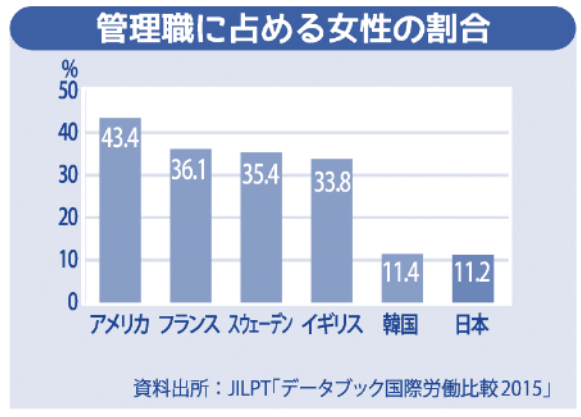


女性活躍推進法 どんな法律?

女性活躍推進法は、すべての働く女性が、その個性と能力を十分に発揮し、活躍できる環境を整備するための法律です。

国および地方公共団体、301人以上の企業は2016年4月1日までに、①女性の活躍状況の把握・課題分析②行動計画の策定・周知・公表・届出③女性の活躍に関する情報の公表などを行う必要があります。

職場の女性活躍推進に向けて、春季生活闘争などを有効活用し、状況把握・課題分析の段階から労働組合として積極的に関与していきましょう。



日本はたった11.2%なんですね!
全就業者に占める女性の割合は、アメリカ、フランスと変わらないのよ。

Point
労働組合として
女性活躍推進法の取り組みに
積極的に関与しよう!